



10月だ！ポーポキはときどき、ハロウィーンに黒猫の衣装を着ます。そして、パンプキンが大好きです！あなたは、ハロウィーンに衣装を着ることはありますか？

Popoki's Hot News!



Coming up!

「ポーポキと一緒に平和と健康を考える」

12月21日に決定！

兵庫医療大学 地域連携推進センター (p.6 をご参照)

「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのローレンにゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。英語の俳句です。

「人によって平和の定義が違っていると思います。私にとって、平和の意味は安全に近いと思います。故郷を離れ、まったく新しいところへ行ったときは特にそうです。私にとって、積極的に追及したい平和は、新しい場所に少しずつ慣れることです。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？

ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki@gmail.com) !

「ポーポキ、おうちに帰れないって、ということ？

～世界・FUKUSHIMA・私たちの生活から避難の権利を問う～

加藤裕子さん 「避難～大切な命を守る～わたしの決断、ペットとともに」

2019年9月28日 神戸 YMCA 三宮会館にて

こんにちは。阿佐優花です。本日は東日本大震災における原発事故のため関西に避難された加藤裕子さんのお話を拝聴しました。加藤さんは放射線がいかに危険であるかを、ご自身の経験を交えながらお話してくださいました。

加藤さんの初期被ばくは、11日間で1.5マイクロシーベルトでした。この影響により、彼女は毎日夕方に下痢を発症し、身に覚えのない青アザ、歯のグラつきや虫歯の欠け等を経験しました。身をもって放射線の恐ろしさを知った加藤さんは、当時小学生だった娘さんのことを思い、関西への引っ越しを決意しました。

加藤さんは避難後、上記のような症状を一切発症しなくなり、改めて放射線がどれほど人体に悪影響であるかを実感しました。しかし、避難先で彼女は再びあらゆる困難に直面したのです。例えば、住居の問題（避難先のマンションでペット禁止や、日本政府の避難指示解除に伴う家賃の急激な引き上げ・福島への帰還を促される）、再就職の難しさ（定職に就くまでアルバイトを掛け持ちして、家計をやりくりする）等です。放射線の恐怖から逃れるため福島から出た加藤さんでしたが、避難先でも生活する上での様々な障害が待ち受けていたのです。



さらに、福島から「出た」加藤さんと福島に「残った」家族との間には距離ができたといいます。加藤さんは福島へ家族を訪れた際にも、放射線のことが頭から離れず、家の中でさえ放射線量を測定せずにはいられないそうです。しかし、その地で生活する彼らの前では気を遣って測定どころか、「放射線」という言葉を口に出すことをしてはならず、いわば暗黙の了解なのです。

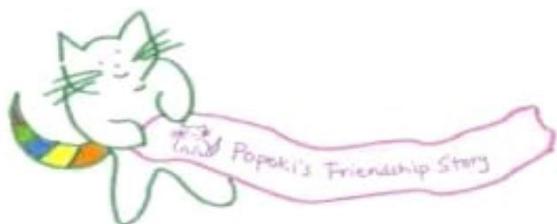
このように震災から8年経った今でも、加藤さんをはじめ、避難した人々は、解決できない様々な問題を抱えています。

『WHY? FUKUSHIMA... NEVER FORGET, NEVER REPEAT, NEVER AGAIN』

この本は加藤さん自身が撮影したモノクロの写真と、福島の原発事故の記録を日本語・英語・韓国語で記されたものです。あなたがもし、福島の原発事故被害者の「記録」を知りたいな

らば、この本はピッタリかもしれません。(amazon.co.jp から注文できます。¥1320)。

*この日のプログラムは、神戸 YMCA, 神戸 YWCA, ポーポキ・ピース・プロジェクトの三者で主催しました。約 20 名の参加者が世界の核問題（核兵器）を考える短い動画を観て、それについて少しディスカッションしてから加藤さんに話をいただきました。加藤さんの話のあとは小グループでディスカッションしました。各グループが話し合った内容を共有してから、参加者一人ひとりが感想を述べる時間もありました。「加藤さんの話を聞いて、避難者の問題が理解できた」、「原発問題を意識しているつもりなのに、いつの間にか遠くになった」、「原発事故はまだまだ終わっていないと思いました」、「とてもわかりやすかった」、「今まではフクシマの農家を応援するために福島県産のものを積極的に買おうとしてきたけれど、それが良いのかどうかをもう一度考えることにした」、「自分に必要な情報を自分で探すことができるようになることの大切さを痛感しました」などのコメントがありました。加藤さん、みなさん、ありがとうございました。(ろにゃん)



Popoki's Interview

みおにゃん

聞き手 さとにゃん

夏休みにみおにゃんとアムダ兵庫のほかの仲間と福島第 2 原発の見学ツアーに参加してきました。帰ってあとにみおにゃんに感想を聞いてみました。

1. 震災以前に原子力発電所について、何か気になることがありましたか？

いわゆる安全性が気になっていました。

2. 東日本大震災以来、色々な所で支援をされていますが、福島関係でも何か支援をされていますか。支援はしていません。

3. 実際に福島に行かれたのは、初めてですか？

林間学校で、会津に行きました。

4. 今回、行かれた感想は？

東海村での臨界事故以降、原子力発電所の安全性は気になっていました。ただそれは本当に漠然としたものでした。今回は実際に見学をさせて頂き、発電の仕組みすらきちんと知らなかった自分を恥ずかしく思っています。今は、自分にとっての適切な電気使用量というものを日々考えています。

5. 行く前と後では何か違いがありますか？

特に大きな違いはありません。やはり東日本大震災時のボランティア活動後に、自分の中で何かが大きく変わったことを感じていたので。

6. 「ポーポキ通信」の読者へのメッセージをください。

被災地はいつまで“被災地”と呼ぶのかな、最近気になっています。

日本中が被災地になってしまいそうですし。

被災地訪問で感じることは人それぞれと思いますが、同じようにそれを表現する方法、表現するかしないかも、人それぞれでいいと思っています。

なので、もっと気楽に若い人たちに被災地に足を運んでもらいたいです。



写真

左上：中間貯蔵施設まで、いわき市の国道を走るトラック

右上：今から原発内部に入ります。

(左から：さとにゃん、みおにゃん)。

左：福島第二原発炉心に入るための入館証

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 138

今月のテーマは、気持ちよくストレッチです！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
 2. では、まっすぐ立ちましょう。そして、ゆっくりロールダウン！
 3. 次は、ゆっくりロールアップしてから、両手を広げてストレッチ！
 4. 最後に手を頭の上にあげて、上半身をゆっくり右へまわし、そして左へまわしましょう。
 5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
- お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？

次回のポー会：11月21日@灘薬剤師会 19:00～



12.21 平和と健康ワークショップ 兵庫医療大学 14:00～16:00 (さとにゃん)

12.21 ポー年会！ イベント終業後。三宮周辺。参加希望者のご連絡ください！

2020.2.6(夜)～ ポーポキ友情物語活動@大槌町

*11.9 ベテランズ・フォア・ピース 講演 (六甲祭、ほか) 詳しくは <https://whatsnew-on-flowersandbombs.blogspot.com/2019/09/1192019.html> を参照

ポーポキの友だちからのおすすめの絵本

『りょうくんのすすむみちー学校に行けない君たちへー』作・絵 かねしろ みゆき、学研 2019年。

12.21 !

平和と健康について話そう！

兵庫医療大学 地域交流プロジェクト *9th Peace and Health
Workshop @HUHS*

ポーポキピースネットワーク

第9回ワークショップ 「健康って、なに色？」

Workshop: "What color is Health?" @ Hyogo University of Health Sciences



あなたも 平和のねこと一緒に
健康と平和について
感じたり、考えたりしませんか？

平和って何だろう？健康って何だろう？

普段何気なく聞いたり見たり感じたりしていること。

ねこのポーポキと一緒に平和や健康の観点から暮らしを見直してみませんか？

あなたの健康づくりは、なに色？みんなで一緒に考えてみよう！！



スケジュール Program

- 
- 13:30 受付 Registration
 - 14:00 「ポガ」タイム Poga ※ポガ：ポーポキのヨガ
 - 14:05 ワークショップ①「ポーポキ、健康って、なに色？」
Workshop 1: Popoki, what color is health?
 - 14:30 散策して平和と健康、元気、安全・安心を探そう *雨天は室内で決行
Walk outside and look for peace and health, genki, safety and relief. *It will be held indoors if rainy
 - 15:10 ワークショップ②「あなたの避難袋は、どんな味？」
Workshop 2: What flavor is your emergency kit?
 - 15:50 まとめ、発表 Conclusion, presentations
 - 16:00 解散 Dismissal

日時 2019年12月21日(土曜日)

14:00~16:00

場所 兵庫医療大学 地域連携実践センター

対象 どなたでも参加できます。Open to all

定員 30名 30 participants

会費 100円

申込方法 FAX(裏面)にてお申し込み下さい。Registration: Fax (see the reverse side)

問合せ先 兵庫医療大学 地域連携実践センター HUHS Community Outreach Center

電話 080-6204-8793(受付時間:平日9時半~16時)

担当者 兵庫医療大学薬学部 桂木聡子 For information contact Satonyan



Popoki in Print

ポーポキ通信のバックナンバー：

<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 「ポーポキのミニ平和映画祭」「こくしのみど52」『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange <http://www.interpeople.or.jp>
- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ! <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に9条がある」NO: 66 2012年5月12日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』2012.1.19 (伝える1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 「『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第19号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて) 『神戸青年』No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第2号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色?』」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第35号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色? ポーポキのピース・ブック2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第2弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇宙賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全30条 イラストで表現 地元ゆかり 6名がパネル制作」2008.10.8 10





私にとってポーポキ

鶴崎祥子

神戸に戻った 2007 年頃神戸 YWCA 平和活動部のメンバーに、ロニー先生とポーポキ・ピース・プロジェクトを紹介された。あの愛らしい表情のポーポキは、ロニー先生の大切な猫だったことも知らされました。

ポーポキ・ピース・プロジェクトは学生・若い人が集いやすい場です。そこで 今の社会にあって命を脅かす原発・核、日々の生活から生まれる貧困・格差・差別、温暖化が引き起こす自然の猛威からの環境破壊など さまざまな問題を通して、どうするか考え行動を起こす。それも片意地はらずしなやかに一歩一歩。その魅力的な活動に シニアの私は惹きつけられます。

年に一度、神戸 YMCA を加えて行われる会。今年はまだ福島に戻れないのはどうして？という証言と世界各地にある核実験場を年代順に視覚に訴える動画からの学び。

関心があるはずが「あなたは、どう？」と見透かされる。 そんな時「一緒に歩みましょう」と声をかけてくれるのが「ポーポキ」です。



ご協力お願いいたします！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10か国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「ご一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.com へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!